

## 家具クラフト学科履修科目一覧表

	科 目	1年次		2年次		合計	担当	実務経験のある教員等による授業
		前期	後期	前期	後期			
理 論	デザイン史	1				1	山越 衛	○
	建築材料		1			1	山越 衛	○
	建築一般構造	2				2	北崎 勝弘	○
	建築設備	1	1			2	北崎 勝弘	○
	建築施工 I	1				1	山越 衛	○
	図学	2	2			4	山越 衛	○
	製図	2	2			4	山内隆	○
	ビジネストレーニング	1	1			2	掛場泰行	○
	ビジネスセミナー		1			1	招待講師	○
	建築環境	1	1			2	北崎 勝弘	○
	加工応用学			3	3	6	木村知幸	○
						0		
		小計	11	9	3	3	26	
実 習	機械加工	1	1			2	島根良一	○
	基本加工 I	3	3			6	島根良一	○
	基本加工 II	3	3			6	島根良一	○
	家具基礎製作	3	3			6	木村知幸	○
	デッサン	2	2			4	小西美樹子	○
	造形演習	2	2			4	加藤則子	○
	家具モデリング I	4	4			8	木村知幸	○
	オフィス	2	2			4	針山基頼	○
	木工実習 I	2				2	木村知幸	○
	木彫刻			3	3	6	金田一司	○
	家具製作 I			7		7	面政裕	○
	家具製作 II			4		4	福原伊織	○
	家具製作 III			7		7	木村知幸	○
	卒業制作				18	18	面・木村・福原	○
	クラフト制作			4	4	8	木村知幸	○
	CAD I (JW)			2	2	4	山内隆	○
	小計	22	20	27	27	96		
	合計	33	29	30	30	122		
実務経験のある教員等による授業単位数合計		33	29	30	30	122		1,830単位時間

\* 表中の数字は単位数(50分授業を15週で1単位)

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修	選択
科目名	デザイン史		授業形態		講義・演習・実習		
開講期	前期	後期・通年	単位	1	週または年コマ数		15
担当教員	山越 衛		使用テキスト		「カラー版」世界デザイン史		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	デザインの歴史を学ぶことにより、新たな技術や社会情勢の中でデザインの役割を考え、これから、どの様なデザインをすべきか考察する。						
授業計画	4月	産業革命と万国博 モリス商会 アールヌーボー					
	5月	ウィーン分離派 バウハウス デ・ステイル アールデコ					
	6月	フランク・ロイド・ライト ル・コルビジエ					
	7月	ミース・ファン・デル・ローエ 安藤忠雄					
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	2	科目区分	必修	選択
科目名	建築材料		授業形態		講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数		30	
担当教員	山越 衛		使用テキスト	やさしい建築材料			
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	前期は、構造材としての材料をよく理解し、強度、耐久性、経済性、安全性等を総合的に判断できるようにする。後期は仕上げ材を中心に材料の特性や品質管理、寸法等を理解することにより建築の施工や設計に際し材料選択について適格に判断できるようにする。						
授業計画	4月	材料について コンクリート					
	5月	コンクリート					
	6月	鋼材					
	7月	防水、耐火、断熱、防音材料					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	木材					
	11月	金属 タイル レンガ					
	12月	ガラス・石材・左官・吹付材料 畳、繊維製品					
	1月	塗料・セメント系材料 プラスチック、接着剤					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	建築一般構造		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期	単位	2	週または年コマ数		30
担当教員	北崎 勝弘		使用テキスト	図説 やさしい建築一般構造		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上					
授業概要 および 学習目標	建築の構造的な成立ちのすべての教科の基礎としてとらえ、前期は木構造、外内部の仕上げや建具などの基本構成、和室や洋室等の構造を学ぶ。後期はRC造、S造、ブロック造、屋根、外壁等の構造、納まりについて学ぶ。					
授業計画	4月	木構造 特徴、構造形式、規格と加工品 軸組構法 構成、接合、基礎、軸組				
	5月	木構造 軸組構法 小屋組、床組、階段 枠組壁構法・大断面集成材				
	6月	内壁 軸組と下地、塗壁、張壁 天井 棹縁天井、目透張り、板張り天井				
	7月	床 板張り床、敷き床、タイル張り床、塗床、張付床 和室と洋室、床の間 縁側 収納空間、階段、開口部の納まり				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	RC構造 原理と特徴、構造形式、構造計画 配筋 基礎 柱 梁 スラブ 階段 壁				
	11月	S構造 特徴、構造形式、構造計画、接合、梁、柱 基礎、床、階段、耐火被覆				
	12月	鉄骨鉄筋コンクリート構造、その他の鉄骨構造補強 コンクリートブロック構造、プレストレストコンクリート構造				
	1月	防水、屋根軒天井、庇、樋、外壁				
	2月					
	3月					
	成績評価	中間試験、期末試験による				
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科	学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	建築設備	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・ <b>通年</b> 単位	2	週または年コマ数	30	
担当教員	北崎 勝弘	使用テキスト	初学者の建築講座 建築設備		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上				
授業概要 および 学習目標	主に空調・給排水衛生・電気設備について学ぶ。建築や家具に付随する物であるが、より深い理解の下に、調和した設備計画が出来るようにする。				
授業計画	4月	給排水衛生設備(上下水道、浄化槽設備、給水設備)			
	5月	給排水衛生設備(給水設備、排水通気設備)			
	6月	給排水衛生設備(衛生器具設備)			
	7月	給排水衛生設備(消火設備、ガス設備 排水再利用・雨水・ごみ処理設備)			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	空気調和設備(空調機器、熱源機器、空調負荷)			
	11月	空気調和設備(暖房、配管、ダクト、換気・排煙)			
	12月	電気設備(受変電動力設備、照明設備、弱電火災報知機設備)			
	1月	消防設備 輸送・搬送設備			
	2月				
	3月				
成績評価	中間試験、期末試験による				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	建築施工 I		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期	単位	1	週または年コマ数		15
担当教員	山越 衛		使用テキスト		初学者の建築講座 建築施工	
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上					
授業概要 および 学習目標	施工がどのように行われているかを把握していないと設計も出来ないし良いのものも作れない。又、適切な管理を行い良質な物を作らねばならない。工事の流れを把握し適切に管理しなければならない。その使命感の元に知識を得る。					
授業計画	4月	建築生産とその過程、設計・施工形態、選択・工事契約の方式				
	5月	工事請負契約・見積と積算、工事監理と工事管理 着工、施工計画				
	6月	品質、原価、工程管理、安全衛生、環境管理管理				
	7月	着工準備・材料の保管・完成引渡し、アフターケア				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	共通仮設工事・直接仮設工事、準備工事、土工事、地業工事				
	11月	鉄筋工事・型枠工事・コンクリート工事				
	12月	鉄骨工事				
	1月	屋根防水工事・仕上げ工事・設備工事				
	2月					
	3月					
成績評価	中間試験、期末試験による					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科	学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	図学	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数	60
担当教員	山越 衛	使用テキスト	配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上				
授業概要 および 学習目標	透視図法の原理・手法を理解することを基本にプレゼンテーションのひとつの手段として、スケッチパース等により意思の伝達ができるような技術と知識を習得することを目的とする。				
授業計画	4月	図面作成のための製図の基礎学問(図面の種類・規約・縮尺等) 製図道具の使い方・線の練習・縮尺図形の作成			
	5月	多面投影法(正投影図)の理論・実技(第1角法) 多面投影法(正投影図)の理論・実技(第3角法)			
	6月	単面投影法(斜投影図)の理論・実技(図形) 単面投影法(等角投影図)の理論・実技(図形)(図形の鳥瞰図)			
	7月	単面投影法(等角投影図)の実技(リビングルームの内観図) 陰影図法の実技(図形)			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	1点透視図法の実技(対角線作図法)			
	11月	1点透視図法の実技(45度法による室内パース作成) 1点透視図法の実技(側線法による室内パース作成)			
	12月	1点透視図法の実技(簡略図法によるスケッチパース作成) 1点透視図法の実技(外観パース作成)			
	1月	2点透視図法の理論・実技(図形)			
	2月				
	3月				
成績評価	中間試験、期末試験による				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修	
科目名	製図			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	4	週または年コマ数			60	
担当教員	山内 隆		使用テキスト		家具のデザインと設計			
担当教員 実務経験概要	建築設計・管理に30年以上携わる							
授業概要 および 学習目標	製図の基本的な方法を学び、きれい、正確に書けるようにする また、図面をみて自分で実際の製作ができるように判断力をつける							
授業計画	4月	線の引き方						
	5月	線の引き方 2						
	6月	家具のトレース、パースの製作 (スツール)						
	7月	〃						
	8月							
	9月							
	10月	家具のトレース、パースの製作 (椅子)						
	11月	〃						
	12月	家具のトレース、パースの製作 (キャビネット他)						
	1月	〃						
	2月	〃						
	3月							
成績評価	機械の使い方の習熟度と応用して作れるかなどにより判断する							
その他								



令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科	学年	1年	科目区分	必修・選択
科目名	ビジネストレーニング	授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数	30
担当教員	掛場 泰行	使用テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当				
授業概要 および 学習目標	急激な経済環境の変化やビジネス社会の構造変化の中「ビジネス社会の 全体像の把握と実務に即した知識・技術の向上」が求められている。その中で 社会情勢を踏まえ、就活支援とビジネス能力のレベルアップを目標とする。				
授業計画	4月	キャリアと仕事へのアプローチ、8つの意識			
	5月	コミュニケーションとビジネスマナーの基本ルール			
	6月	入社から退社までと休暇のルール。報告・連絡・相談			
	7月	敬語の種類と必要性、来客・訪問対応のマナー			
	8月	夏期休暇			
	9月	同上			
	10月	会社と仕事への取組み方			
	11月	ビジネス文書の役割と書き方(社内文書・社外文書)			
	12月	電話対応、電子メールの活用			
	1月	表とグラフの役割と特徴、情報収集とメディアの活用			
	2月	日本経済の基本構造と変化、求められる人材の変化			
	3月	春期休暇			
成績評価	授業中の学習態度 定期テストの成績 12月に行われるビジネス能力検定ジョブパス3級の合否				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修	選択
科目名	ビジネスセミナー		授業形態		講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	1	週または年コマ数		15	
担当教員	招待講師		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要							
授業概要 および 学習目標	各業界にて活躍する先輩などを招いて苦労話や学校の生活についてのアドバイスなどの話を聞く。						
授業計画	1回	意匠設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。					
	2回	構造設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。					
	3回	生産設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。					
	4回	住宅会社の仕事について講師を招いて説明を受ける。					
	5回	建設会社の仕事について講師を招いて説明を受ける。					
成績評価	レポート提出による。						
その他	不定期 5日×3時間						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科	学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	建築環境	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・ <b>通年</b> 単位	2	週または年コマ数	30	
担当教員	北崎 勝弘	使用テキスト	図説 やさしい建築環境		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上				
授業概要 および 学習目標	外部気候・室内環境・都市環境・人間工学について学ぶ。デザインや計画の根幹であり、物事の成り立ちが自然環境と切っても切れない関係である事を学ぶ。				
授業計画	4月	建築環境の概要、風土と建築、気温・湿度			
	5月	風・雨・雪、室内気候			
	6月	伝熱、断熱、蓄熱・熱容量、結露			
	7月	換気、通風、日照と日射、日影			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	採光、照明、色彩			
	11月	音環境、遮音と吸音、騒音と振動、室内音響			
	12月	都市の熱環境・空気環境・光環境・音環境・水環境			
	1月	人体寸法と作業寸法、キッチン・サニタリーの計画 家具の寸法、高齢者、障害者の配慮			
	2月				
	3月				
成績評価	中間試験、期末試験による				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	加工応用学			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6	週または年コマ数		90	
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年携わり自営にて家具製造を20年以上						
授業概要 および 学習目標	家具制作の技術を生かして違う分野の方法を学ぶ 旋盤、クラフト、革細工などのデザイン、作り方を学び、自分の枠を広げる						
授業計画	4月	旋盤	ぐい飲み制作				
	5月	クラフト	さじ、はし				
	6月	クラフト	革固定用道具制作				
	7月		〃				
	8月		〃				
	9月						
	10月	クラフト	革細工	道具の使い方、縫い方練習			
	11月		革細工	名刺入れ作成			
	12月		革細工	ペンケース作成			
	1月		革細工	財布作成			
	2月		革細工	オリジナル作品作成			
	3月						
成績評価	普段の取り組み方の様子と出席状況を参考に作品の企画・デザインを参考に、課題の提出具合を見て評価する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修	
科目名	機械加工			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	2	週または年コマ数		30		
担当教員	島根 良一		使用テキスト		木工大図鑑			
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて2年、その後自営にて家具制作35年以上							
授業概要 および 学習目標	機械の基本的な使い方を学び、安全、正確に使えるようにする							
授業計画	4月	手押し鉋盤の使い方						
	5月	自動一面鉋の使い方						
	6月	角のみ盤の使い方						
	7月	昇降丸ノコ盤の使い方						
	8月							
	9月							
	10月	横切り盤、丸ノコの使い方						
	11月	トリマー、ルーターの使い方						
	12月	斜め加工の方法、使い方						
	1月	薄い材、細い材の木取り方						
	2月	刃物交換、整備について						
	3月							
成績評価	機械の使い方の習熟度と応用して作れるかなどにより判断する							
その他								

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修	
科目名	基本加工 I			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	6	週または年コマ数		90		
担当教員	島根 良一		使用テキスト		木工大図鑑			
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて2年、その後自営にて家具制作35年以上							
授業概要 および 学習目標	鉋、ノミなど手加工道具の使い方と加工技術の習得							
授業計画	4月	道具の仕込み、使い方練習						
	5月	あられ組加工						
	6月	大入れほぞ加工						
	7月	組み立て、仕上げ、引き出し加工など						
	8月							
	9月							
	10月	框加工練習～框加工						
	11月	框加工、みぞ、相欠き						
	12月	扉加工						
	1月	引き出し						
	2月	底板、天板加工						
3月								
成績評価	授業課題の進捗具合と、出席状況を見て、完成度により判断する							
その他								

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修	
科目名	基本加工 II			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	6	週または年コマ数		90		
担当教員	島根 良一		使用テキスト		木工大図鑑			
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて2年、その後自営にて家具制作35年以上							
授業概要 および 学習目標	鉋、ノミなど手加工道具の使い方と加工技術の習得							
授業計画	4月	道具の仕込み、使い方練習						
	5月	あられ組加工						
	6月	大入れほぞ加工						
	7月	組み立て、仕上げ、引き出し加工など						
	8月							
	9月							
	10月	框加工練習～框加工						
	11月	框加工、みぞ、相欠き						
	12月	扉加工						
	1月	引き出し						
	2月	底板、天板加工						
3月								
成績評価	授業課題の進捗具合と、出席状況を見て、完成度により判断する							
その他								

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修
科目名	家具基礎制作			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6	週または年コマ数		90	
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年携わり自営にて家具製造20年以上						
授業概要 および 学習目標	くぎやビスを使わないほぞ組を基本に学ぶ 前期は主にスツール制作で、平かんなや反りかんななどの使い方を学ぶ 後期は斜めや曲面を使った加工を含む機械の使い方も学ぶ						
授業計画	4月	木槌	通しほぞ				
	5月	スツール制作	手加工による丸ほぞ				
	6月	オリジナルデザイン～座面、丸脚の削り					
	7月	座面、丸脚の削り～仕上げ、組み立て					
	8月						
	9月						
	10月	椅子制作	木取り表作成、木取り				
	11月	ほぞ、ほぞ穴加工					
	12月	斜め加工					
	1月	曲面加工					
	2月	仕上げ、組み立て					
	3月						
成績評価	課題の進捗度と出席状況を見て課題の完成度などにより判断する						
その他							



令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	デッサン		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数		60
担当教員	小西 美樹子		使用テキスト			
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上					
授業概要 および 学習目標	物を見る力を育て、発想・構成・描写観察力を伸ばす。					
授業計画	4月	鉛筆デッサンによる材料の説明と単純な構成を描く。 グラデーション				
	5月	鉛筆デッサン 立体を描く、形をとる。 鉛筆デッサン 屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	6月	鉛筆デッサン 立体を描く、形をとる。 鉛筆デッサン 屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	7月	鉛筆デッサン 立体を描く、形をとる。 鉛筆デッサン 屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	鉛筆デッサン 静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。 鉛筆デッサン 個々の見方での表現をめざす。				
	11月	鉛筆デッサン 静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。 鉛筆デッサン 個々の見方での表現をめざす。				
	12月	鉛筆デッサン 静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。 鉛筆デッサン 個々の見方での表現をめざす。				
	1月	鉛筆デッサン 静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。 鉛筆デッサン 個々の見方での表現をめざす。				
	2月					
	3月					
成績評価	課題提出による					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科	学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	造形演習	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数	60
担当教員	加藤 則子	使用テキスト			
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上				
授業概要 および 学習目標	造形の基本を、線・面・立体・空間へと広げながら演習を通して学ぶ。リズム、バランス、プロポーションをふまえて、多様な造形や空間構成を身につけ「観る・感じる・考える」力も養う。建築空間を想像しながら立体構成を行い建築の内と外を想定しながら、また光と空間の美しさを感じながら制作する。				
授業計画	4月	●自由な曲線 ●直線と曲線レリーフ(抽象・余白・非対称)			
	5月	●群れのデザイン (平面・繰り返しのリズム) (立体・動きあるカタチの意味)			
	6月	●1枚の板から椅子 (面の構成、用強美のデザイン) (図面とスケッチ)			
	7月	●塊の組み合わせ (基本の幾何学形) (足す・引く・かみ合うカタチ)			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	●カタチと素材のデータファイル ●クレーの仕上げとスケッチ			
	11月	●比例の立体 (黄金比・√矩形・豊比整数比)			
	12月	●開くカタチ・つながるカタチ (カタチの意味を考える)			
	1月	●キューブのデザイン (表層・内部+間接光)			
	2月				
	3月				
成績評価	課題提出による				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修	
科目名	家具モデリング I			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	8	週または年コマ数		120		
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑			
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年携わり自営にて家具製造20年以上							
授業概要 および 学習目標	5分の1の模型を製作。模型で実際の家具づくりを簡易的に理解し、実際の制作に生かす。また、名作家具と呼ばれる家具をコピー制作しデザインや強度などを3次元的に学ぶ。							
授業計画	4月	丸のみ練習						
	5月	スツール模型						
	6月	〃						
	7月	スツール模型(ラッセン作品)						
	8月							
	9月							
	10月	椅子模型(コノイドチェア・ジョージナカシマ作)						
	11月	〃						
	12月	〃						
	1月	椅子模型(スタッキングチェア・課題作品)						
	2月	〃						
	3月							
成績評価	課題の進捗度と出席状況を見て課題の完成度などにより判断する							
その他								

令和2年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト学科		学年	1	科目区分	必修 選択
科目名	オフィス		授業形態	講義・演習 (実習)		
開講期	前期・後期 (通年) 単位	4	週または年コマ数	60		
担当教員	針山 基頼	使用テキスト	30時間でマスター Word&Excel2019(実教出版) 30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019(実教出版)			
担当教員 実務経験概要	他の教育機関および本校にてシステム管理・ネットワーク管理の業務に15年以上携わる。本校では、情報処理系・ネットワーク系・Office系の授業を10年以上行っている。					
授業概要 および 学習目標	社会で必須となっているOfficeソフトの操作を習得していく。					
授業計画	4月	Wordの基本操作				
	5月	ビジネス文章の作成				
	6月	Wordの応用操作				
	7月	Excelの基本操作 / 関数の活用				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	関数の活用 / グラフ機能				
	11月	グラフ機能 / データベース機能				
	12月	プレゼンテーションとは / PowerPointの基本操作				
	1月	PowerPointの応用操作				
	2月	アニメーション機能				
	3月	春期休暇				
成績評価	授業態度 定期テストの成績					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	1	科目区分	必修
科目名	木工実習 I			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	2	週または年コマ数		30	
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年、その後自営にて家具制作20年以上						
授業概要 および 学習目標	図面に従って、計画通りに加工して期日通りに仕上げることを目指す。 共同作業の実施によって物事を大きく見て、分担して効率よくすることを学ぶ。						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月	木工品の製作 企画、デザイン、計画、生産、仕上げまで					
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	機械の使い方の習熟度と応用して作れるかなどにより判断する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	木彫刻			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6	週または年コマ数		90	
担当教員	金田 一司		使用テキスト		自分の資料のコピー配布		
担当教員 実務経験概要	富山県井波にてらんま制作に10年携わり、自営で、らんま、木彫制作30年以上						
授業概要 および 学習目標	丸のみ、彫刻等を使い彫りの技術を学ぶ。また、漆塗りの体験もおこなう 平面に彫ることから始め、実用的なもの彫刻を両立させたものを作る 後期は立体的な作品をつくる						
授業計画	4月	コースター制作、 漆塗り					
	5月	葉型の皿		手彫りの習得			
	6月	〃		漆塗り			
	7月	ペーパーナイフ		実用性とデザイン性の両立			
	8月						
	9月						
	10月	六角箱		レリーフ			
	11月	立体作品(魚)		全体の形づくり			
	12月	〃		表面の彫り			
	1月	〃		表面の彫り			
	2月	〃		細部の仕上げ			
	3月						
成績評価	課題の進捗度と出席状況を見て課題の完成度などにより判断する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	家具制作 I			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	7	週または年コマ数		105	
担当教員	面 政裕		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて8年携わり自営にて家具製造20年以上						
授業概要 および 学習目標	機械、手加工の技術を復習して、さらに高度な技術を学ぶ サイズ、材料、作り方などを限定された中で、使い手を想定した もらってうれしいものをデザインし、制作する						
授業計画	4月	小さなプレゼント 企画、デザイン					
	5月	" 制作					
	6月	" 制作					
	7月	" 制作					
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	普段の取り組み方の様子と出席状況を参考に作品の企画・デザインを見て、総合的な完成度を見て評価する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	家具制作Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	4	週または年コマ数		60	
担当教員	福原 伊織		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて5年携わり、自営にて家具製造7年以上						
授業概要 および 学習目標	機械、手加工の技術を復習して、さらに高度な技術を学ぶ 主にテーブルの作り方を学ぶ。反りを止める蟻型吸い付き棧などや 天板を仕上げるかんなの使い方を学ぶ						
授業計画	4月	テーブルの製作 構造の種類					
	5月	〃	材料の使い方				
	6月	〃	板の反り止め				
	7月	〃	かんな仕上げ				
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	普段の取り組み方の様子と出席状況を参考に作品の仕上がり具合を見て、総合的な完成度で評価する						
その他							



令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	家具制作Ⅲ			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	7	週または年コマ数		105	
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年携わり自営にて家具製造を20年以上						
授業概要 および 学習目標	機械、手加工の技術を復習して、さらに高度な技術を学ぶ 1年次にやってきたことを踏まえ、新しい技術を体験して制作する						
授業計画	4月	箱組	蟻組				
	5月	箱組	多角形の加工				
	6月	箱組	あられ組				
	7月	額制作	留め加工				
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	普段の取り組み方の様子と出席状況を参考に作品の企画・デザインを見て、総合的な完成度を見て評価する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	卒業制作			授業形態		実習	
開講期	後期	単位	18	週または年コマ数		270	
担当教員	面政裕、木村知幸 福原伊織		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	面政裕 実務経験25年以上 木村 知幸 実務経験25年以上 福原 伊織 実務経験12年以上						
授業概要 および 学習目標	基礎的な技術をふまえ、特殊な技法の習得も行う デザイン面も過去や現代の多くを学び、現代生活での使用を考えて自分なりに 改良しながら、オリジナルの創出に挑む						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	現代、過去のデザインの研究					
	11月	特殊技法の演習					
	12月	オリジナルデザイン、図面制作					
	1月	家具、クラフトの製作					
	2月	〃					
3月							
成績評価	課題の進捗度と出席状況を見て課題の完成度などにより判断する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修
科目名	クラフト制作			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	8	週または年コマ数		120	
担当教員	木村 知幸		使用テキスト		木工大図鑑		
担当教員 実務経験概要	家具製造会社にて4年携わり自営にて家具製造を20年以上						
授業概要 および 学習目標	機械、手加工の技術を復習して、さらに高度な技術を学ぶ 1年次にやってきたことを踏まえ、新しい技術を体験して制作する						
授業計画	4月	デザインについて					
	5月	クラフト 木のおもちゃ					
	6月	〃					
	7月	〃					
	8月						
	9月						
	10月	クラフト オリジナル商品開発					
	11月	〃					
	12月	〃					
	1月	〃					
	2月	〃					
	3月						
成績評価	普段の取り組み方の様子と出席状況を参考に作品の企画・デザインを見て、総合的な完成度を見て評価する						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	家具クラフト			学年	2	科目区分	必修	
科目名	CAD I (JW)			授業形態		実習		
開講期	通年	単位	4	週または年コマ数		60		
担当教員	山内 隆		使用テキスト		だれでもよくわかるフリーソフトJW-CAD			
担当教員 実務経験概要	建築設計、管理に30年以上携わる							
授業概要 および 学習目標	パソコンでの製図の使い方から学ぶ。最初は規定のものをトレースし徐々に難しいものも挑戦していく。基本の使い方を学ぶとともに自分のデザインしたものをCADで書けるようにする							
授業計画	4月	線の引き方						
	5月	椅子の製図						
	6月	"						
	7月	テーブルの製図						
	8月							
	9月							
	10月	キャビネットの製図						
	11月	空間全体の家具デザインの製図						
	12月	"						
	1月	オリジナル家具の製図(卒業制作で作るもの)						
	2月	"						
	3月							
成績評価	課題の進捗度と出席状況を見て課題の完成度などにより判断する							
その他								